

## 鹿島市の特徴や誇れるもの

- ・ラムサール条約湿地「肥前鹿島干潟」。東アジアにおけるシギ・チドリ類の重要な渡りの中継地及び越冬地となっています。
- ・重要無形文化財保持者(人間国宝)木版摺更紗もくはんずりさらさ作者の鈴木滋人さん。木版摺更紗の研究・錬磨を重ねてその技法を高度に体得し、独自の作風を確立しました。
- ・重要伝統的建造物群保存地区に指定されている肥前浜宿。多くの白壁土蔵や茅葺町家などの伝統的な建物が残っています。
- ・鬼の面をつけて勇壮に舞い踊る「面浮立」等、80を超える芸能が伝承されており、五穀豊穡ごこくほうじょうや自然への感謝を込めて、各地の神社などで奉納されます。



クロツラヘラサギ



肥前浜宿



面浮立

## 七浦小学校の取組



ムツゴロウみたい



干潟へダイブ!

七浦小学校では、毎年「セリンピック」を行っています。干潟で行うミニ運動会です。潟の中で競走したり綱引きしたりと干潟を満喫します。子どもたちはみんな潟まみれです。競技中には、目の前にムツゴロウやカニを見ることができます。体全身で、豊かな海「有明海」を体感します。七浦サイコー!

教育委員会所在地:鹿島市大字納富分2643番地1

連絡先:0954-63-2103

学校数: 小学校 7校、中学校 2校

## 能古見小学校の取組



能古見小の周りは自然でいっぱいです。特に学校南側の杉やヒノキ、梅、栗がある山の一部も、学校所有地です。その自然の一部を山浦の里薪クラブの皆様が事業主体となり整備していただき、「平和の森」という名称でシイタケ栽培などの学習の場として活用しています。このように「自然に親しみ・遊び・学ぶ」機会を増やすことで、自然を愛し・親しむ心はもちろん、能古見や鹿島を愛する心につなげていく活動に取り組んでいます。

## 西部中学校の取組

西部中学校の1年生では、郷土「鹿島」を愛する心を育む教育として、「鹿島学」と題し「鹿島の魅力をお届けします」のテーマのもと、調べ学習で発表PRを行っています。

(1) 住んでいるけれど、まだまだ知らない鹿島について、「住んでいる人」「働いている人」「観光に来た人」へのインタビューをしたり講演会で話を聞いたり、さらに学習用PCを活用して調べ学習を行いました。

(2) 調べ学習を通して得た情報や知識を活用してスライドや新聞という形でまとめました。西部中学校の50周年式典では代表生徒が発表し、鹿島の魅力についてPRを行いました。「鹿島学」をきっかけとしてこれからも郷土「鹿島」を愛する心を育んでいきたいと思っています。

